

明石市立木の根学園の管理運営状況報告(2025年度)

施設所管課	福祉局生活支援室 障害福祉課
-------	----------------

2012年4月から指定管理者制度を導入した明石市立木の根学園について、2025年度における指定管理者による管理運営状況を報告します。

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 明桜会
(2) 指定期間	2023年4月1日～2028年3月31日
(3) 指定管理料	2025年度協定締結額(当初 62,820千円 決算額 62,820千円) (2024年度協定締結額(当初 62,820千円 決算額 62,820千円))
(4) 管理体制	・総括管理者 ・管理者 ・サービス管理責任者 ・生活支援員 ・職業指導員 ・機能訓練指導員 ・看護師 ・事務員 ・清掃員 ・医師(嘱託) ・運転員 ・合 計 1人(管理者兼務) 2人 2人 57人 ※内2人事務員兼務、1人清掃員兼務、1人運転員兼務 2人 1人 ※両工房兼務 3人※内1人両工房兼務 2人 1人 1人 3人 70人※内職種兼務3人、工房兼務2人 (正職員 23人、契約職員46人、嘱託職員 1人)

2 評価項目

(1)顧客満足度について

①アンケート調査等の実施状況	＜木の根学園利用者・保護者アンケート(2026年2月実施)＞												
	質問事項	2025年度						2024年度					
		満足している	やや満足	やや不満	不満がある	わからない・どちらともいえない	無回答	満足している	やや満足	やや不満	不満がある	わからない・どちらともいえない	無回答
	利用者様は楽しく学園に通っていますか？	69%	27%	1%	0%	1%	2%	72%	23%	1%	0%	4%	0%
	コロナ禍、配布のお手紙やブログで、学園の様子はお伝えできていますか？	58%	36%	2%	0%	4%	0%	58%	36%	1%	0%	5%	0%
	職員は、利用者様に丁寧(乱暴な言葉の使用、命令、体罰をしない)に接していますか？	73%	18%	0%	0%	5%	4%	76%	20%	0%	0%	3%	1%
	利用者様の個別支援計画や生活の様子について十分な説明や情報提供がありますか？	54%	36%	6%	0%	1%	3%	66%	29%	3%	0%	2%	0%
	家族の要望や不満、利用者様に関する心配なことを言いやすい雰囲気がありますか？	57%	35%	5%	0%	1%	2%	66%	28%	1%	0%	5%	0%
	施設管理者や職員は家族の要望や不満に、きちんと対応してくれますか？	62%	36%	0%	0%	1%	1%	64%	30%	0%	0%	5%	1%
	この1年を通して、木の根学園のサービス内容に満足していますか？	58%	37%	1%	0%	3%	1%	60%	33%	0%	0%	2%	5%
②利用者からの主な苦情とその対応	・個人情報保護の観点から職員の顔写真が配布されなくなったことで家庭での話題を共有しにくくなったという声や、LINEを活用した写真・配布物の共有など、情報発信の改善を求める意見が挙げられている。 ・コロナ禍以前に行われていたプールや調理実習、散歩、1泊での研修旅行などのプログラム復活を望む声や、軽作業の充実を求める要望がある。 ・スタッフ間でのさらなる情報共有、新任職員の顔写真掲示などによるコミュニケーションの改善、年度替わりの時期における怪我防止の見守り強化を求める意見が挙げられている。												
所管課コメント	・アンケートは、「満足している」「やや満足」の合計値がどの質問事項でもおおむね9割程度となっており、利用者や保護者から高評価を受けている。また、2024年度より特に取り組んできた強度行動障害のある自閉症者への支援についても利用者からの一定の評価を得ている。 ・2回目の指定管理期間(2017年度から2022年度)に引き続き、2023年度から2027年度までの5年間の指定管理期間の3年目(通算14年目)となり、事業・サービス内容について安定し順調に推移している。												

(2) 事業達成度について

①事業・業務の実施状況	<運営業務>
	○たんぽぽ工房、ひまわり工房は、土曜日(年間27日)の開園を含む年間268日開園した。開園日数については最大限可能な日数で設定している。
	○短期入所施設(2016年4月開設)は、キャンセル待ち利用を開始したことから、女性居室も利用状況が回復傾向にある。
	<維持管理業務>
	○たんぽぽ工房(エアコン修繕、更衣室扉修繕、回転窯修繕など) ひまわり工房(スノーズレン室壁修繕、換気扇修繕)
	○利用者の安全を優先し、適切な修繕を行った。
	<自主事業>
	○10月に京都水族館・ひらかたパークへ研修旅行を実施した。両工房合わせて104名の利用者が参加した。
	○1月に新年会を実施し、両工房合わせて112名の利用者が参加した。
	<その他業務>
	○各種研修に職員が参加しスキルの向上に努めた。
	○利用者・保護者や関係機関から聴取した個人情報について、個人情報保護の観点から鍵付書庫で管理している。
	○緊急対応マニュアルを作成し、マニュアルに基づいた対応を実施。
	○個別支援計画の公開・工賃明細の配布等、必要に応じ対応した。

②施設等の利用状況	<木の根学園利用者の施設利用状況>			
		開園日数	在籍者数 ※年間平均値	利用率 ※年間平均値
	たんぽぽ工房	268日 (R6 267日)	60.3名 (R6 60.3名)	78.34% (R6 85.56%)
	ひまわり工房		61名 (R6 61名)	90.79% (R6 86.81%)
	たんぽぽ工房 ひまわり工房 計		121.3名 (R6 121.3名)	84.57% (R6 86.19%)
所管課コメント	短期入所施設	358日 (R6 358日)	6名(定員)	90.78% (R6 90.32%)
	・ひまわり工房、短期入所施設は、昨年度に比べ利用率が向上し、安定的な支援を実施することができたと考えられる。 ・研修旅行や新年会など園外行事を実施し、利用者や保護者のニーズに沿った運営が実施できていると考えられる。			

(3)事業収支について

①収支状況	<収支状況>			
	(単位:千円)			
	項目		2025年度	2024年度
	収入合計(A)		391,400	389,712
	内訳	指定管理料	62,820	62,820
		利用料収入	312,731	310,637
		その他収入	15,849	16,255
	支出合計(B)		368,369	357,631
	内訳	人件費	256,416	261,696
		事務費	12,603	8,476
		管理費	66,073	59,119
		物件費	1,605	564
		負担金	2,277	2,079
		事業費	22,588	20,389
		公租公課	210	0
		一般管理費	1,012	408
		その他支出	5,585	4,900
	収支(A-B)		23,031	32,081
②使用料等の収入状況	(単位:千円)			
	項目		2025年度	2024年度
	利用料収入(自立支援サービス給付費)		312,731	310,637
				281,524
所管課コメント	・利用料収入については、人員配置体制加算Ⅲや、重度障害者支援加算により、昨年度と同水準の収入となっている。 ・物価高騰により管理費が増加傾向にあるため、引き続き良好な管理・運営等を実施するための費用について、定期的に収支状況を確認していく。			

3 その他参考となる特記事項

・強度行動障害を伴う方への支援において、工房内の物理的構造化をさらに推し進めた。従来の「みんな一緒に」という一斉の支援から、「必要に応じて、使い分け」ができる個別的な支援へと移行することが可能となり、より一層の安心感と空間の見通しの良さを提供できた。

4 所管課総合評価

・14年目の指定管理業務について、各工房において、利用者のニーズに沿った個別活動の時間を設けてプログラムを提供し、利用率は前年度同様に高い水準を維持している。

・利用者・保護者アンケートにおいても「満足している」「やや満足している」の割合が概ね前年並みであり、安定したサービスの提供ができていることが伺える。園外行事の実施により、施設利用者が楽しく通園できるよう配慮されている。

・今後も市の責任において適正かつ必要な指導・監督に努め、利用者増加やサービス向上、安全対策のために、引き続き良好な管理・運営等の継続に向けた取り組みを求めていく。